

東北 VALUE SIGHT 秋田



秋田活性化株式会社 代表取締役
日景 賢悟 (ひかげ・けんご)

2004年1月に秋田活性化株式会社を設立。秋田を売り込むパイロット店舗として、東京銀座に「AKITA DINING なまはげ」、06年12月に仙台一番町に「AKITA DINING なまはげ仙台店」を開店。11年5月、銀座2丁目に銀座で2店舗目となる「なまはげ別邸」をオープン。他に、有限会社日景石油代表取締役、おおだて映像計画有限責任事業組合代表組合員、釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員長などを務める。

秋田活性化株式会社
秋田県秋田市山王7丁目4-13 拓朋ビル2F
TEL 018-883-5101
<http://www.akita-namahage.jp/akk/>

地方が元気になるには、地方にある資源に目を向け、それを活用して地域づくりをすることが重要だと言われるが、その実践は容易ではない。秋田活性化株式会社の日景社長は、秋田のよさに自信を持ち、「地域に人とお金の流れを創る」べく、強い信念を持って秋田の発展のために尽力しており、その取り組みを紹介する。

新たな価値を創造し、未来の秋田を創る

私の仕事のコンセプトは「地域に人とお金の流れを創る」ことである。その思いにぶれはなく、業種の垣根もない。秋田への「逆流」を創る仕事は決して楽ではないが、地域の発展には必要不可欠な仕事だと思っている。

ここであえて「逆流」という言葉を使ったのは、地域から人とお金が出て行くことが多く、流入してくるものが少ないことに起因し、それを本流ととらえない考えからだ。このように、人とお金が出て行く地方をこれから担おうとする者にとって、この現実を直視し、未来を創る役割を果たさなければならないことは本当に大変な仕事だ。

秋田への「逆流」づくりを実践

このような思いから、10年前、秋田の経済的発展を願う有志85名の出資を募り、秋田活性化株式会社を設立し、秋田の食と文化を東京から発信することで秋田への逆流を創ろうと、東京銀座に「AKITA DINING なまはげ」という飲食店を設け、全国の方々に秋田を発信しながら、食材の仕入れ分と店舗売上が秋田に逆流する仕組みを創り上げた。今は銀座2店舗、仙台1店舗を運営するほか、ネットショップで秋田の物産品も販売している。

また、5年前に大館でおおだて映像計画有限責任事業組合(LLP)という映像制作会社を立ち上げ、「ハナばあちゃん!!～わたしのヤマのカミサマ～」という映画を製作した。県内各地から多くの方々の協力を得ながら、住民が地域資源を再発見する視点の醸成と、地域をプロモーションする手段としての「映画」という新たな価値を創り上げた結果、県内外

から撮影場所への誘客が図られた他、物販振興も起こり、メディアプロモーションによる地域経済効果を実践できた。

地域資源の創造とコミュニティづくり

そして現在、大館市釈迦内地区で「釈迦内サンフラワープロジェクト」の実行委員長を務めている。このプロジェクトは大館市教育委員会が推し進める「ふるさとキャリア教育」の理念に基づき、地域が核となり、小学生がひまわりの栽培、収穫、ひまわり油の加工、販売という一連の作業を行い、その収益を北海道で行う4泊5日の宿泊体感学習(漁業と畜産を体験)に充てるものである。

子供達が土にまみれ、額に汗し、地域の方々と一緒に作業する行程を経て、「ひまわりという地域資源を創造」し、それを加工、販売することで、「地域で生きる力」を養うための教育をしている。さらに、そのような教育のみならず、子供達に「ここで生きて欲しい」と願う心が共通項となり、地域住民・企業・行政が一体となって協力するまちづくりの効果もある。今では全国から視察団を受け入れるまでになり、地域に経済効果を上げると同時に、地域コミュニティの再興も進んでいる。

東京至上主義の歪み

飲食店経営、映画製作、サンフラワープロジェクトと、それぞれまったく違う次元のことを別々にやっているように思われがちだが、私の行動規範は

先に述べた、「地域に人とお金の流れを創る」ことである。その時々に応じて目の前にある「地域課題を解決する具体的手段」として行ってきたものであるが、それぞれに共通して行ってきたことは「地域を見つめ直すこと」であり、何より「地域に潜在的価値があるからこそ出来たこと」なのだ。

現に、安倍晋三首相が掲げる「戦後レジームからの脱却」という言葉は本来「戦後体制(思想)からの脱却」という意味で使われるが、地方の視点からとらえると「東京一極集中からの脱却」と読み取ることが出来る。

確かに戦後、奇跡の復活を成し遂げた日本の歴史からみると、あらゆる財を首都に一極集中させ、効率の復興を遂行しなければ今の日本の繁栄はなかったと言えよう。そして、それに伴い地方を離れ、がむしゃらに働いていただいた今の団塊世代をはじめとする諸先輩方には心から感謝しなければならない。

ところが、今だ変わらぬ東京至上主義によって、地方から多くの人とお金が東京に流れていること自体が、現代の日本の構造に多くの歪みをもたらしていると思えてならない。

地方の価値を見つめ直す

そこで、未来の日本の構造に変革をもたらす、かつ「地域課題を解決する手段」として今まさに「地方が持つ価値」が必要とされる時代になった。

価値は人それぞれ千差万別であり、時代とともに移ろうものであり、経済で計れる価値もあれば、計り切れない価値もあるが、秋田には時代の中で忘れ

去られた価値や、経済で計り切れない価値が多くある。

これを一言で言い表すなら「秋田の人には当たり前前の価値」ではないだろうか? 優しく、美しく、生真面目な人財。豊かな山に植林された木財。清らかな水で育った食財。日本一多い無形民族文化財。枚挙にいとまがないほど恵まれた秋田が持つ「お金で計れない当たり前前の価値」を再度見つめ直し、ここで生きていく武器に変え、秋田人の誇りを再興できた時、初めて「人とお金が秋田に集まる流れが本流となる」と信じている。

そのため、この地に根を張り、あるものを真摯に見つめ直し、そこにある潜在力を発見し、住民と共有し、価値を高め、「地域に人とお金の流れを創る」ことで「秋田人の誇りを取り戻す仕事」を生涯求めていく所存である。



AKITA DINING なまはげ 銀座店。築120年のわらぶき屋根古民家を移築した内観で故郷の雰囲気を存分に醸し出し、本物の秋田を味わっていただけるような空間をつくっている。